

和太鼓演奏

「絆～和太鼓組曲『海嶺』より～」

《作調》 大脇 聡(和太鼓集団 志多ら)
「日本福祉大学附属高校和太鼓部OB」

《演奏》 日本福祉大学附属高等学校
和太鼓部「楽鼓」

和太鼓組曲「海嶺」は、三浦綾子さんの小説『海嶺』を題材にし、タイトルも原作者の遺族からいただいています。

江戸末期、14歳の音吉は千石船「宝順丸」で初航海に臨みました。しかし途中大嵐に遭遇、生き残るため帆柱を切り倒します。太平洋をさまようなかで14名の乗組員は次々と倒れ、音吉ら3名はアメリカに漂着、5年間世界各地を転々とし、多くの人の支えの中で奇跡的に帰国の機会を得ます。「やっと日本に帰れる。」しかし日本は鎖国時代、音吉らは帰国を断念し、仲間と共に異国で新しく生きる道を選択していきます。

共に困難を乗り越えて生まれる「絆」、そして「絆」があるからこそ次の壁にも立ち向かっていける。私達が大切にしているものを、音吉の人生に重ねて表現します。音吉達を乗せた宝順丸の上に暗雲がたちこめ、高波が船をゆらし始めました。本日の演奏は嵐がやってくる場面から始まります。どうぞお聴き下さい。

《日本福祉大学附属高等学校 和太鼓部紹介》

太鼓の音色は“こころの響き”

今年で創部30周年を迎えた和太鼓部「楽鼓(らっこ)」は、部員のほとんどが和太鼓初心者です。仲間と支え合いながら練習に励んでいます。

全国高文祭には県代表として27年連続出場し、11回の入賞(最優秀賞2回、優秀賞3回、優良賞6回)を経験しています。海外公演も6回経験し、毎年東日本大震災被災地での激励演奏も続けています。近年、小中学校の芸術鑑賞会でも演奏の機会を数多くいただいています。

校歌

光り満つ 美浜の大地 作詞 中村 宗信

作曲 石黒 艶子

雲ゆるぎ 生氣溢れぬ

集い来し 友よわが友

手をとりにて ともに進まん

理想 理想 福祉大附属高校

橘の香りも高く

匂いたり われらが校徽

若き日に 残さぬ悔を

この旗の 彩にも深く

誓う 誓う 福祉大附属高校

法の音 静かに伝う

学び舎に 積みし蛍雪

輝ける 真理の炬火も

今燃えて ゆくてを照らす

永遠に 永遠に 福祉大附属高校



日本福祉大学附属高等学校

創立60周年

記念式典

平成30年10月12日(金)

会場:東海市芸術劇場大ホール

記念式典

時 間

13時00分 ~ 13時50分

1. 開会の辞
2. 和太鼓演奏
3. 式辞

日本福祉大学付属高等学校 校長 岩本 憲之

4. 挨拶

学校法人日本福祉大学 理事長 丸山 悟

5. 来賓祝辞

愛知県知事 大村 秀章 様

美浜町長 神谷 信行 様

東海市長 鈴木 淳雄 様

6. 来賓紹介

7. 祝電披露

8. 生徒誓いの言葉

日本福祉大学付属高等学校 生徒会長 石田 理佳

9. 校歌斉唱

10. 閉式の辞

講演会

時 間

14時00分 ~ 14時55分

《演 題》 「『世界でいちばん長い写真』で
描きたかったこと」

《講演者》 誉田 哲也 先生(小説家)

映画「世界でいちばん長い写真」原作者

1969年東京都生まれ。2002年『妖の華』で第2回ムー伝奇ノベル大賞優秀賞を受賞。2003年、『アクセス』で第4回ホラーサスペンス大賞特別賞を受賞。2006年刊行の『ストロベリーナイト』に始まる〈姫川玲子シリーズ〉は、現在の警察小説ムーブメントを代表する作品のひとつとして多くの読者を獲得し、映像化も話題となった。『武士道シックスティーン』『プラージュ』など、作風は多岐にわたる。青春小説『世界でいちばん長い写真』が映画化され、2018年公開。

映画上映会

時 間

15時10分 ~ 17時05分

《挨拶》 草野 翔吾 監督

《映画上映》 『世界でいちばん長い写真』

(2018年作品/102分)

引っ込み思案で、これといった目標もなく、冴えない毎日を送っている高校写真部員の宏伸。高校最後の夏休みのある日、従姉の温子が店長をしているリサイクルショップで一台の



風変わりなカメラと出会う。そのカメラは360度の撮影が可能な珍しいパノラマカメラだった。実際にパノラマカメラで撮影し、現像された写真に今までにない感動を覚えた宏伸は360度撮影したい景色を求めて、街を自転車で駆け回る。

日本福祉大学付属高等学校で実際にあった話を題材にした青春映画「世界でいちばん長い写真」が、2018年6月から全国で公開されました。撮影は前年夏、本校を含む知多半島を舞台に行われ、本校生徒らも参加しました。